

『9月の主な動き』

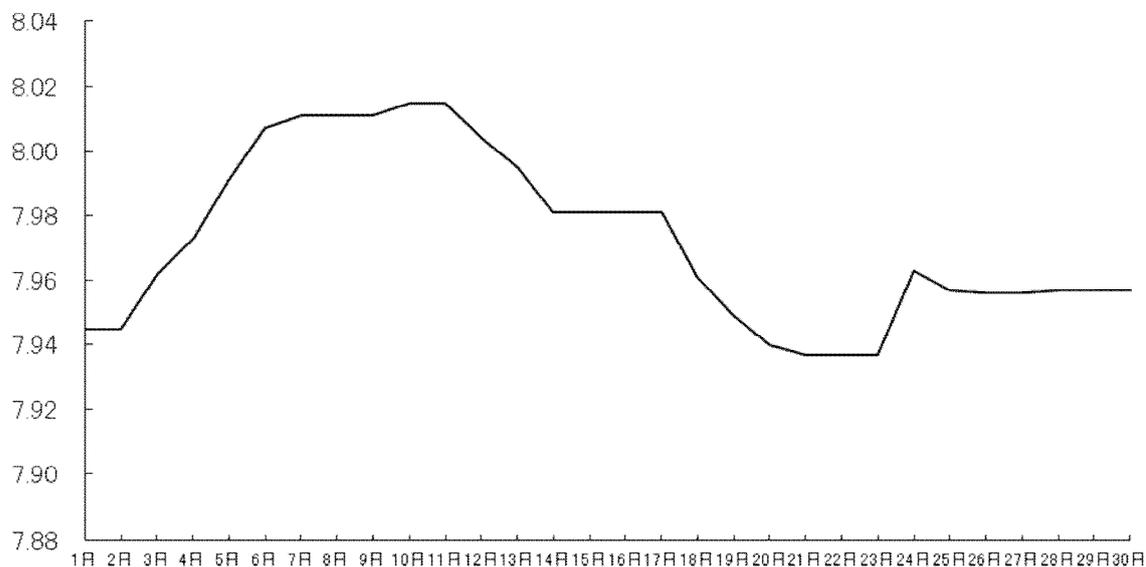
- 9月、対米ドル・ケツアル為替は1ドル=7.937~8.015の範囲で推移した。
- 9月、消費者物価指数は対前月比0.49%、対前年同月比3.28%上昇した。
- 9月、外国からの送金額は前月に比べ減少、対前年同月比では0.28%増となった。
- 5日、世界経済フォーラムが発表した国際競争力指数において、当国の順位が144カ国中83位であった。
- 24日、ペレス・モリーナ大統領はモレノ IDB 総裁と会談した。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート（中銀）

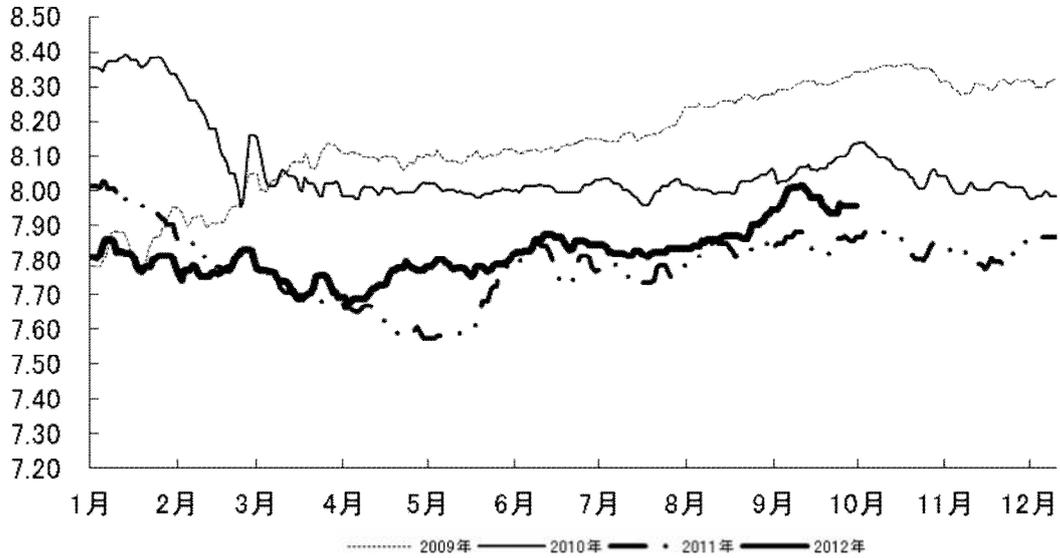
9月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1ドル=7.937~8.015の範囲で推移した。9月30日時点の為替レートは同月初頭に比べ0.0127ケツアル高ドル安の1ドル=7.9572ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2012年9月



(出典：グアテマラ中央銀行)

ケツアル対ドル相場の推移：2009年-2012年

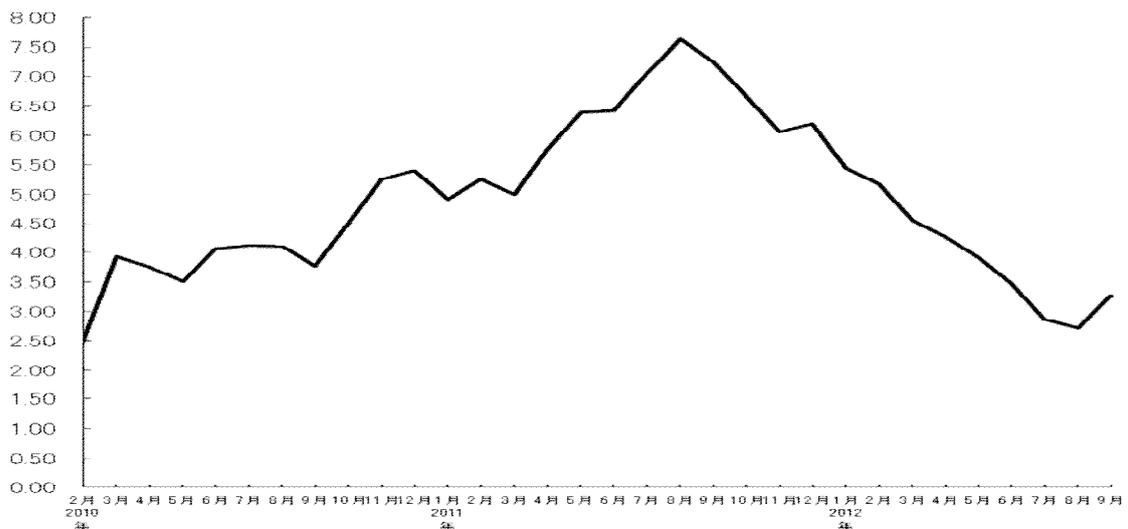


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数 (国立統計院)

9月、消費者物価指数は前月比で0.49%上昇し、前年同月比では3.28%上昇した。

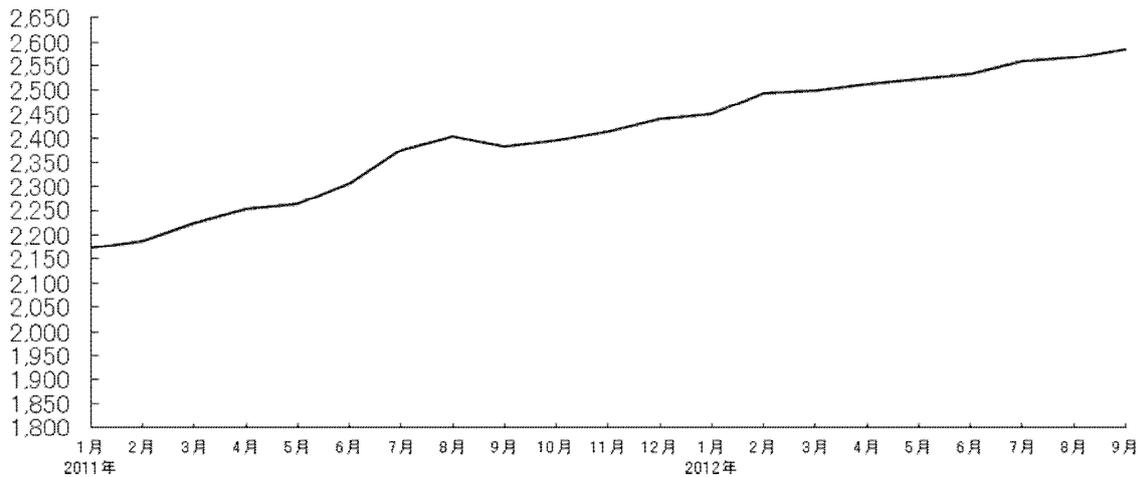
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2010-2012年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1世帯 5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26品目）価格は、前月比 19.20 ケツアル増の 2,585.10 ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2010-2012年
(単位：ケツアル)



(出典：国立統計院)

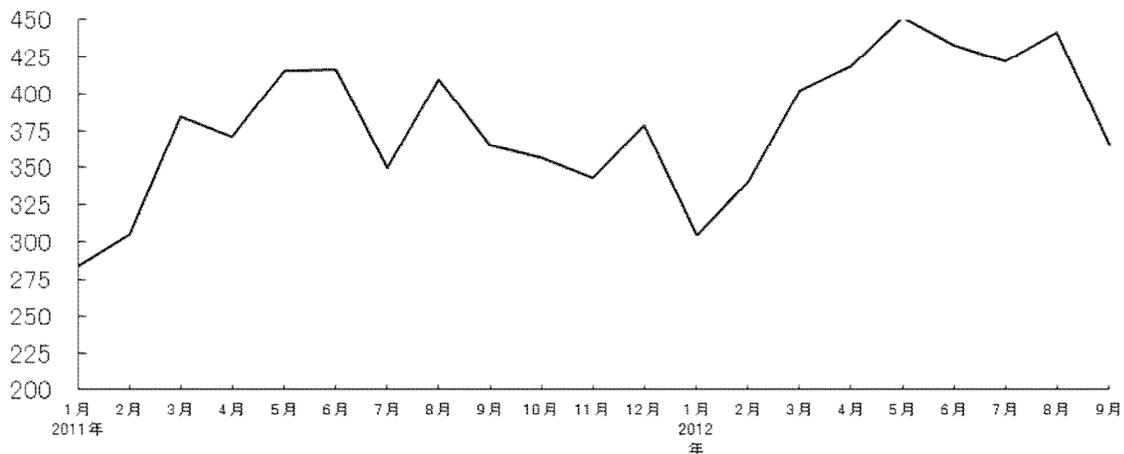
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比 35.04 ケツアル増の 4,717.34 ケツアル/月となった。

(3) 外国からの送金（中銀）

9月、外国からの送金額は前月に比べ減少したが、前年同月比0.28%増の3億6,579万ドルとなった。

外国からの送金額：2011-2012年

(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

2. 経済トピックス

(1) 政策金利

26日、国家金融審議会(JM)は大きなインフレの変動も無くマクロ経済状態が安定していることから、当国の政策金利を引き続き5%(2012年6月に5.5%から5.0%に引き下げられた)に据え置くことを決定した旨発表した。

(2) 当国鉄道事業の再建

6日、パイス大統領府国家競争力プログラム(PRONACOM)民間セクター代表は、当国の鉄道事業の再建に関心を示す韓国、台湾、ブラジル及びEUのミッションが当国を訪問した旨発表した。なお、同代表は、右再建事業に関し、当国政府として国際入札あるいは官民連携等の如何なるスキームを通じて実現するのか未だ決定していない旨述べた。

(3) 台湾見本市の開催

26日～29日、当国において台湾見本市が開催され、当国に製造工場を有する台湾企業23社が参加し、プラスチック注射器、包装、調剤用の各機械、スポーツ機材、送水ポンプ、自転車、コンピューター等の展示が行われた。

(4) 「ドライ・カナル」プロジェクトの説明会の実施

28日、「ドライ・カナル」プロジェクト実行委員会は、同プロジェクト実施にかかる説明会を開催した。同プロジェクトは当国東部太平洋岸と大西洋岸を高速道路（全長371.57Km）及び鉄道で結ぶ大規模プロジェクトであり、両大洋岸には各々ポスト・パナマックス船対応の新港の建設及びオイル・パイプラインの敷設が検討されている。同プロジェクトには7,500百万ドルの初期投資が必要と見込まれており、遅くとも2013年11月頃にプロジェクトが着工される予定である。

(5) 世界経済フォーラム 2012 年国際競争力指数

5日、世界経済フォーラムが発表した国際競争力指数において当国の順位は144カ国中83位（2011年は142カ国中84位）であった。また、同フォーラム報告書によると治安・防犯対策向け出費指数については昨年に引き続き最下位（144カ国中144位）となった。

(6) 当国の長期信用格付け

6日、格付け会社Standar & Poor'sは当国経済が安定的であるとの見通しの下、長期信用格付けを2011年8月のBB-からBB+に引き上げた旨発表した。

(7) 世界の経済自由度ランキング

18日、米国のケイトー研究所（CATO Instituto）及びカナダのフレイザー研究所（Fraser Institute）は、「世界の経済自由度ランキング」を発表した。同ランキングによれば、当国は144カ国中50位で昨年より3ランク順位を落としたものの、中米諸国ではコスタリカ（36位）及びエルサルバドル（38位）に次いで3番目に位置する結果となった。なお、最下位はベネズエラ。

(8) モレノ米州開発銀行（IDB）総裁との会談

24日、第67回国連総会出席のため米国を訪問したペレス・モリーナ大統領は、モレノ米州開発銀行（IDB）総裁と会談した。同会談において、モレノ総裁は、メキシコからパナマまでの4車線の道路建設のために1,000百万ドルの資金供与（その内、240百万ドルがグアテマラ向け）の用意がある旨述べた。

(9) インド企業ミッションの当国訪問

7日、インドの製薬会社（抗生物質、麻酔薬、抗がん剤、胃腸薬、自然薬品等を生産）代表22名が当国を訪問し、ブリス商工会議所会頭等と会合を行った。Bhattacharjee 駐グアテマラ・インド大使は、インドから当国への輸出品に関し、バイクに次いで多いのが薬品である旨述べた。

(10) DR-CAFTA 発効 6 周年

11 日、グアテマラ米国商工会議所 (AMCHAM) は、本年 7 月に発効 6 周年を迎えた DR-CAFTA に関し、右発効によりグアテマラの対米輸出は 2006 年 (3,100 百万ドル) から 1.5 倍以上 (4,700 百万ドル) にまで増加した旨発表した。

(了)